

3. 水と緑の形成方針

「暮らしにゆとりとうるおいをもたらす豊かな水と緑の空間形成」

南幌の景観の特色である田園風景と防風林及び南幌を取り囲む河川と河畔林などの骨格的な水と緑を生かしながら、森づくりの拠点形成や身近な居住環境の緑の保全に努め、暮らしにゆとりとうるおいをもたらす豊かな水と緑の空間形成を目指します。

●基本方針

①緑豊かな田園都市づくり

南幌を取り囲み、農地・河川に豊かで清らかな水を提供するとともに、南幌の魅力を高める緑豊かな田園都市をイメージするまちづくりに努めます（夕張川、旧夕張川、千歳川沿いの河畔林の保全・整備）。

町民の協力による緑豊かな田園都市をイメージするまちづくりの拠点形成を図ります（三重湖周辺、南幌温泉周辺など水辺の保全・緑化など）。

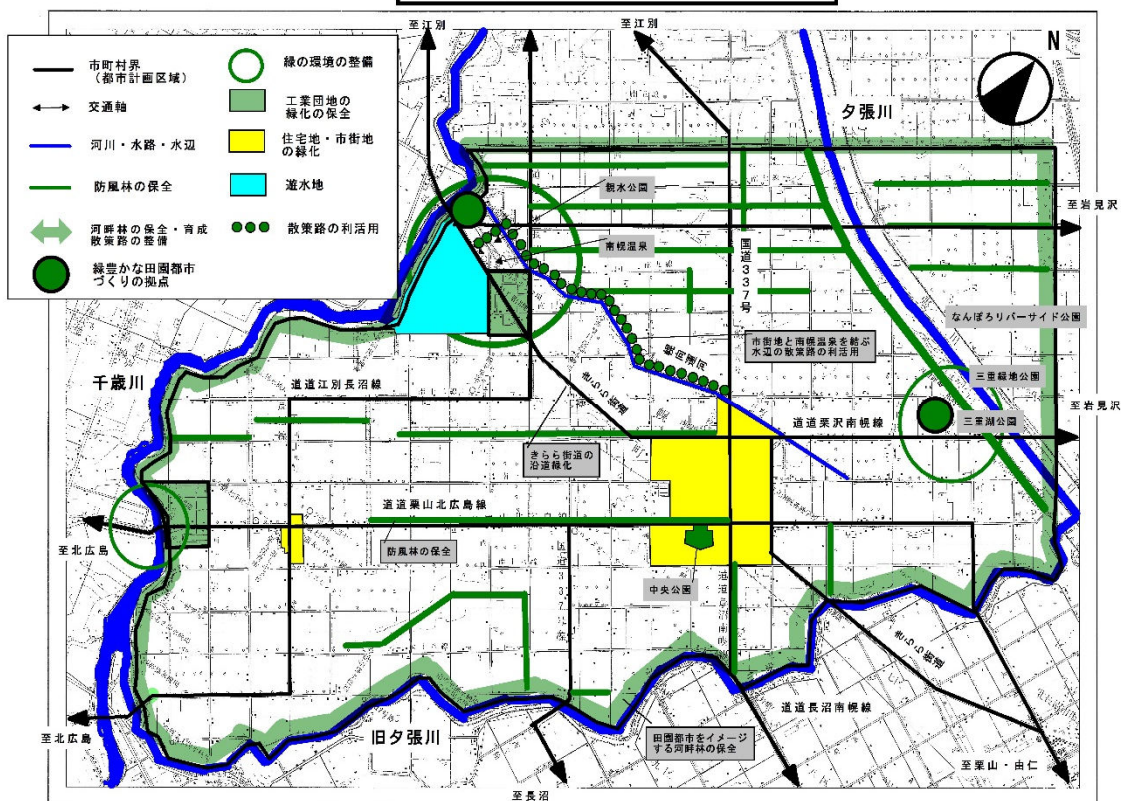
②身近な居住環境の緑の充実

町内会活動を通じ、町民などの自主的な花植えにより沿道や住宅地の身近な公園・緑地などの緑化の支援に努めます。地域の風土に育まれた防風林や公園、公共用地などの緑の保全と活用を図ります。南幌らしい緑化のあり方についての検討を図ります。

③水と緑を生かした散策路等の形成

幌向運河の水辺を生かして、南幌市街地と晩翠地区（南幌温泉周辺）を結ぶ水辺の散策路などの形成に努めるとともに、晩翠遊水地では治水機能を損なわないよう南幌町の地域特性や自然景観に配慮し、南幌温泉を中心に人が集まるような利活用を図ります。南幌を取り囲む河川沿いに河畔林の保全・育成に努め、南幌温泉やパークゴルフ場など既存の施設等を生かし、散策路などの整備・保全に努めます。

水と緑の形成方針図



4. 住環境の整備方針

「安心して住み続けられる住環境づくり」

緑豊かな田園都市を形成する住宅市街地づくりを進め、少子高齢社会を迎える中で、すべての町民が「安心して住み続けられる」ためにハード面・ソフト面が充実した住環境づくりを目指します。

●基本方針

①高齢者が安心して暮らせる住宅・住環境づくり

高齢者向け住宅の供給に努めます。(町営シルバーハウジング事業等の推進) 高齢者の在宅生活を支える住環境づくりを進めます(住宅改善等の住宅相談窓口の拡充や一般住宅の耐震化率95%達成のため、耐震改修に係る費用の補助を住宅リフォーム等助成事業の中で行うなどの支援環境の整備、緊急通報システムの設置やボランティアによる安否確認サービスの推進など)。

②緑豊かな田園居住環境づくり

町の資源である防風林を保全するとともに、市街地と町全体の住環境の向上を図る緑のネットワークを形成する緑化を推進します(緑化活動の推進)。積雪に配慮したゆとりある住宅地づくりを進めます(地域援助排雪事業の普及促進、住宅リフォームによる融雪槽の設置)。環境にやさしい住環境づくりを進めます(下水道処理区域外での合併浄化槽の設置の普及促進など)。

③多様な住宅ストックの供給

高齢者や子育て及び若年世帯における支援を含めた公的住宅の供給、住宅建設の助成などを進めます(住生活基本計画に基づく計画的な公営住宅の長寿命化修繕や建設計画など)。南幌市街地への居住促進を図ります(民間事業者との連携による賃貸住宅建設促進の検討、みどり野団地の販売促進など)。夕張太西地区の団地造成事業については、住宅供給のあり方や住宅需要の動向を把握しながら整備を検討します。

④空き家の活用・適正管理の推進

人口減少や少子高齢化等を背景とした空き家の増加が増える予想され、空き家の利活用や適正管理を促進し空き家を抑制する必要があります。空き家・空き地情報バンクの充実と活用により、多くの情報共有と提供を行い、住宅リフォーム等助成金事業を活用し空き家の再生や多用途への活用、腐朽した空き家の除却など適正管理の促進を図ります。中古住宅の流通を促進することにより、空き家の抑制にも繋がる中古住宅購入補助の検討を推進します。

住環境の整備方針図

